

邦楽ジャーナル presents

日本の音楽

能楽 笛・小鼓・舞で描く

「道成寺」「黒塚」より

義太夫節

「絵本太功記」 尾ヶ崎の段

時空を超える旅

vol.2

「怒」

日本音楽の魅力やパワーを、ジャンルを超えて体感！

写真:新宮夕海

2025 11.16 日 開場 15:00 / 開演 16:00

北とぴあ つつじホール JR京浜東北線・
東京メトロ南北線「王子駅」徒歩2分

チケット一般発売開始日 10月6日(月)

料金(全席自由) —

【一般】3,500円/当日4,000円【北区民割引】3,000円(当日券は割引なし)

※東京都北区にお住まいの方は、割引価格でお求めいただけます。(前売り販売のみ)取り扱いは、はくとぴあチケットオンライン(WEB/要事前登録)または、北とぴあ1階チケット売場(窓口で免許証・保険証等を要提示)のみ。割引での購入はWEB・窓口あわせてお一人様4枚まで。

【学生割引】2,000円/当日2,500円 ※公演当日入場時に学生証をご提示ください。

※車椅子席をご希望の方は、チケット購入後、北区文化振興財団(03-5390-1221/平日9:00~17:00)にてご予約ください。※未就学児入場不可

チケット取り扱い —

はくとぴあチケットオンライン <https://p-ticket.jp/kitabunka/> / 北とぴあ1階チケット売場(窓口のみ/10:00~20:00)

問い合わせ:株式会社ブエン・カミーノ contact@buen-camino.jp

主催:邦楽ジャーナル 共催:(公財)北区文化振興財団 制作:株式会社ブエン・カミーノ

日本の音楽 時空を超える旅 vol.2 [怒]

演目

「喜怒哀楽」シリーズ、第2回は「怒」。人の怒りを日本の音楽ではどのように表して来たのか、能楽と義太夫節でとくとお聴きあれ！

能楽 笛・小鼓・舞で描く「道成寺」「黒塚」より

「道成寺」(和歌山県)の釣り鐘が再興されたとき、白拍子は鐘を拝みたいと願い出でて寺に入り、舞ながら鐘に近づき鐘を落として中に消えます。住職は、昔、裏切られたと知った娘が男を追ってこの寺に至り、男が隠れた鐘に巻きつくとも怒りと恨みの炎で鐘もろとも焼き殺してしまったと語ります。住職が祈ると鐘の中から鬼女が現れて…。「黒塚」は、山伏一行が安達原(福島県)の黒塚に住む老女が人喰いの鬼であることを知りあばら屋から逃げ出すも、怒りに燃えて追ってくる鬼女の物語。見せ場の乱拍子や急の舞など、能の迫力と緊張感をお届けします。



写真：シロタコウジ

シテ・佐野登

宝生流18代宗家宝生英雄に師事。重要無形文化財総合指定(能楽)保持者。東京藝術大学卒。国内外での演能活動や謡曲・仕舞の指導を中心に、学校教育における伝統文化伝承の授業や幼児児童教育の現場で「生きる力」を育むプログラムを実施。中島みゆき「夜会」出演等、現代に生きる能楽を目指し活動をしている。



小鼓・森澤勇司

重要無形文化財能楽保持者(総合指定)。能楽師小鼓方幸清流。テンブル大学日本校在学中に国立能楽堂養成事業2期生にて能楽修行を開始。明治天皇生誕150年祭、靖国神社奉納会を含む2000番以上の公演に出演している。著書：「ビジネス版『風姿花伝』の教え」「超訳 世阿弥 道を極める」。能の題材になっている神話、古典などの普及にも取り組んでいる。公益社団法人能楽協会会員。



笛・一噌幸弘

能楽師一噌流笛方・笛演奏家・作曲家。能楽師として能舞台をつとめる一方、篠笛・田楽笛・リコーダー・角笛等で国内外の様々なアーティストと共演。NHK「紅白歌合戦」テレビ朝日「題名のない音楽会」等出演。海外公演にも多数出演。2011年第24回ミュージック・ペンクラブ音楽賞受賞。日本文化藝術財団第二回創造する伝統賞受賞。重要無形文化財総合指定保持者。

義太夫節「絵本太功記」尼ヶ崎の段

「絵本太功記」は、主君信長の重なる非人道の行いに怒った武智光秀(=明智光秀)が本能寺で主君・小田春永(=織田信長)を討ってから天王山で真柴久吉(=羽柴秀吉)に敗れるまでの物語。山場が十段目「尼ヶ崎の段」で、「絵本太功記」といえばこの段をさすまでに有名です。逆賊となった光秀が、誤って母親を刺し殺してしまい、そこに初陣から戻ってきた息子が味方の敗北を伝え息絶えます。光秀そして母、妻、息子の許嫁の苦悶を義太夫節の渾身の語り・節と三味線でお聴きいただきます。曲中、一噌幸弘の能管が加わります。本邦初の試みです。



浄瑠璃・竹本越孝

1972年竹本越道に入門。1989年より竹本越孝の会主宰。1994年(財)清栄会奨励賞受賞。1998年豊澤仙廣賞受賞。2000年重要無形文化財(総合指定)保持認定。2019年第39回伝統文化ボーラ賞優秀賞受賞。2020年度文化庁芸術祭優秀賞受賞。2024年旭日双光章受章。国内、海外公演や邦楽番組等に多数出演、後進の指導にも力を注ぐ。(一社)義太夫協会理事。



三味線・鶴澤三寿々

東京藝術大学音楽学部楽理科卒業、同大学院修了。1991年竹本駒之助(人間国宝)に入門。2000年義太夫協会新人奨励賞受賞。2001年度文化庁芸術インターンシップ研修員。2001年より素浄瑠璃の会主宰。2006年度(財)清栄会奨励賞受賞。2018年重要無形文化財(総合指定)保持認定。国内、海外公演や邦楽番組等に多数出演。(一社)義太夫協会正会員。東京音楽大学、常葉大学講師。

出演

邦楽案内人

田中隆文(邦楽ジャーナル編集長)
神永大輔(邦楽ジャーナル代表執行役、尺八奏者)



田中隆文



神永大輔

邦楽案内人が
日本の音楽を
楽しくわかりやすく
解説！

12:00~

《同日開催》
和楽器もくもく会
和楽器仲間との交流や合奏を気軽に
お楽しみいただけます。参加費:500円

15:00~

お酒・おつまみ販売ブース(有料)
開演前に日本酒やクラフトビールをどうぞ！

15:00~

義太夫三味線体験コーナー(参加無料)

太くて重い義太夫三味線をぶ厚いパチで鳴らす醍醐味を体験してください！
その他尺八などの和楽器も体験いただけます。

